

Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 Equipped For a Purpose 「常に備えあれ、目的に向かって」
 アジア会長標語 The New Millennium, The New Y's Men 「ニューミレニアム、ニューワイズメン」
 西日本区理事標語 「イノベーション(革新) - 理想のワイズを求めて」
 中部部長標語 「ワイズは自然体で新世紀へ」
 クラブ会長標語 「ワイズを楽しもう！」

2000年12月号

< 今月の聖句 >

あなたは、知らないのか、聞いたことはないのか。主は、とことえにいます神 地の果てに及ぶすべてのものの造り主。倦むことなく、疲れることなく、その英知は究めがたい。

イザヤ書 40 - 28 節

例会出欠・遅刻の連絡は「ご出欠連絡書」によりお願いします

2000年12月例会ご案内

第一例会 クリスマス会

と き : 12月10日(日)
 ところ : 新東西酒楽ENN 縁
 時 間 : 受付 AM11:15 ~
 例会 AM11:30 ~
 PM2:00
 会 費 : 大人 6,000 円
 子供 1,000 円 (小~大学生)

プレゼント交換を行います。
 1,000円/1人程度のプレゼントを
 ご用意下さい。

第二例会 忘年会

と き : 12月26日(火)
 ところ : 榮太郎 栄店
 (ナディアパーク北側)
 時 間 : PM7:00 ~
 会 費 : 7,000 円 (飲み放題)

第一,第二例会とも詳細は最終ページ
 を御覧下さい。

11 月 例 会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(11月)	
	在 席 者	24名	第 1 例 会	20名	当 月・切 手		ニコBOX ノート	
	例会出席者	21名	第 2 例 会	13名	当 月・現 金		感 謝 ファンド	
当月出席率	87.50	部 会 他	1名	累 計		累 計	9690	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 = 強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う =

11月第一例会報告

今月は名古屋クラブとの合同例会になり、いつもとは違う、改まった雰囲気の中で行われました。

講師には元愛知学院大学教授、現在は「一つ山自然教室」主宰の竹内邦彦先生をお招きしました。先生は76歳というお歳にしては珍しくジーンズにタンガリーシャツという出で立ちで、一見お百姓さん？（失礼）のような風貌は権威にとらわれない純粋な研究者としてのお人柄がしのばれました。打合せに伺った自然教室の飾り気は無いが必要なものが揃っている様子からも自然科学教育に対する真摯な姿勢がうかがわれる方でもあります。（本当はそこで例会ができれば良かったのですが）

当初テーマは「これからの自然科学教育」という予定でした。先生の研究対象であるメダカの脳の模型を使いながら「メダカ遊泳時の方向制御と脳」という今までの研究内容の紹介をされたのですが、その前段に思いつくまま過去中々日の目を観ることができなかった研究者達のエピソードを交え「日本では残念なことに物事が見掛けや権威で判断され、真の発見や才能が正当な評価をされ難い」という趣旨の日本の自然科学研究を憂いるお話がありました。最近の例では皆さんご存知のノーベル賞受賞者、白河教授のケースに見られる通りです。先生は多くの生物学者や生理学者の研究内容だけでなくその人達の人生の経緯についても大変詳しく著書の「生物のお話」にも興味深い実例がたくさん書かれています。例会では銀杏の研究から高等植物の受精に精子が関与することを世界で最初に発見しながらなかなか認められなかった平瀬作五郎などのエピソードが紹介されました。

本題のメダカのお話もさることながら、日本の学界の権威主義に対する歯に衣を着せぬ批判に始めは少し躊躇しつつも、そのあまりに率直な姿勢が聞く私達の心の琴線をくすぐり笑いの中にも考えさせられる例会となりました。

自然教育は講義よりも実験が近道、次回はぜひ先生の自然教室に伺い顕微鏡をのぞいたりメダカの観察をしてみたいと思います。

ドライバー 藤田留美



サンドル訪問記（その2）

阿部会長から先のサンドル訪問についてご意見いただきました。

サンドルクラブ訪問は私自身にとって初めての訪問でした。サンドルクラブがホストを務める地区大会の初日という日にもかかわらず空港まで迎えに来て頂いたり、おいしい食事にお誘い頂いたり、釣り、ゴルフと大変な歓迎を頂きました。今回の訪問の目的はクラブ員との交流、相互訪問の取り決め、台湾のクラブとのトライアングル、ホームステイなどのプログラムなどを話し合うことでした。

こうした事については、サンドルとIBCを結んで以来少しあいまいであったように思っていて、話し合うのに大変良い機会でした。話し合いの詳しい内容については例会等でこれから良く話し合っていきたいと考えています。クラブのIBC活動に何とか道づけができたと思っています。まずは来年初冬に台湾へ非公式に訪問に行きます。また皆さんのお力をお借りしたいので宜しくお願い致します。

阿部 一雄

イギリス便り from ISSEIY



Horse Race Night

早いものでこちらに来て住むようになってから丁度二年がたち三回目のクリスマスを迎えようとしています。今年は殊のほか雨が多いようで、私にはこれから始まる本格的な冬が思いやられますが、なんとと言ってもクリスマスはこちらでは一年の中で最大の行事です。普段は暗い田舎の町にもイルミネーションが輝き、買い物の人出が急に多くなりました。イギリスは今全体として景気も良いのでなおさら華やいだ気がします。

さて、こちらでも Kingswood クラブと言うイ

ギリスに二つしかないワイズの例会に出席していることは以前にもお知らせしました。このクラブが10月の特別例会として開催しました‘Horse Race Night’についてお話したいと思います。

‘Horse Race Night’は文字どおり競馬を楽しむ夕べです。いつも会食がある例会場と同じホール（公民館のような所です）でありました。この例会は近隣の人にも呼びかけて行われおおよそ100人近くの人が集まりました。

ファンドを集めるための特別プログラムですが、今回は地元にある‘アルツハイマー症’の研究所に全額が寄付されました。ブリストルにあるこの研究所は世界でもこの病気に関しては先進的な研究をしているとのことでした。



全部で9レースが行われましたが、そのうちの8レースは‘冠レース’で予め15ポンド（約2500円）を出すと自分でレースの名前をつけることが出来ます。これがファンド集めの始まりです。私も1レース結婚月を記念して申し込み、第四レース‘Grampus Gallop’ sponsored by Issei Yoshida とプログラムに掲載され当日もレースのオーナーとして栄えある紹介を受けました。

入場料は5ポンド（約800円）で三々五々集まった人たちはホールに特設された‘移動式パブ’でビター、ラガー、ワイン等購入しテーブルを囲んで歓談しながらレースの開始を待ちます。移動式といってもパブには流石こだわりのある英国人です、専門の出張サービスがあるようでアルコール飲料から、ソフトドリンクまで品揃えの多さと、装備は本格的でした。

いよいよレース開始、配られた投票用紙に、プログラムにレース毎に書かれている8頭の馬名をみながら、連勝単式（1.2着を当てる）で馬番を記入して投票所で50ペンス（約80円）を出して馬券を買います。

馬名が書いてあるだけで何ら他の情報はありませんが、皆ワイワイガヤガヤ勝手なことを言いながら楽しく盛り上がった所で、レースのオ

ナーが紹介され、封印された缶の中に入っている懐かしい16mmフィルムのテープのひとつを選びます。テープは開封され映写機にかけられ先ずは各出走馬と最近の戦績が紹介されます。ここ数年勝ちが無いとか、連戦連勝中とかの紹介に、落胆の声や、歓声があがるなか各馬一斉にスタート。レースは英国地方競馬の実際のレースを写したもので、迫力のある実況中継に否が応でもみんな興奮、野次や声援飛び交う中、ムチが入り再び歓声や、悲鳴の中でゴール、直ちに配当金が発表され支払われます。

私は第四レースでは1番SOS4番Wired Upと来て的中、5倍の配当金を貰いました。配当金は3倍から7倍程度でした。第四レースが終了したところで休憩、肉料理と野菜、パンとデザートまでついたセルフサービスですが食事が出ました。この食事は入場料に含まれています、メンバーの中でケータリングサービスの会社をやっている人が作るので大変値打ちなものでした。

残りのレースも同じような要領で進行されました、第九レースは会場で馬主を入札で募集、これもファンド作りのアイデアのようです。最終レース終了後、はずれ馬券の抽選会が行われ、メンバーが持ち寄った品物が景品として渡すと言う演出もありました。

終わりには寄付を受ける研究所の理事長に目録を贈呈、感謝の言葉とともに簡単な現状説明もあり大変よい締めくくりのうち、夜の7時半から始まった4時間あまりの会はお開きとなりました。

最終集計では1200ポンド（約20万円）の寄付が出来たとのことでした。

2000年11月27日

吉田一誠



これの美味しい季節になりました

行事予定

1. クリスマス例会

日時：平成12年12月10日（日）
 受付 11時15分～
 例会 11時30分～14時
 場所：新東西酒楽 Enn 緑
 名古屋市中区大須 3-6-3 味仙ビル3F
052-238-7359
 会費：大人 6,000円（ピンゴゲーム代含む）
 子供 1,000円（幼児無料）

2. 忘年会

日時：平成12年12月26日（火）
 開始 19時～
 場所：榮太郎 栄店（ナディアパーク北側）
 名古屋市中区栄3丁目13-20 栄センタービル B1F
052-261-5599
 出欠を12月10までに阿部会長まで

3. 第12回グランパスファミリースキー案内

今年は暖冬との長期予報がありますが、毎年好評を頂いています。グランパスファミリースキーを今年も開催いたします。

期日：2001年1月13日（土）～14日（日）
 会場：長野県大町爺ガ岳スキー場
 マルハンロッジ 0261-22-8452
 費用：12日（金）～14日（日）1・5泊
 （朝食2・夕食1）
 小学生以上 12000円（税別）
 幼児（4,5歳）4000円（税別）
 13日（土）～14日（日）1泊
 （夕食・朝食各1）
 小学生以上 7700円（税別）
 幼児（4,5歳）3000円（税別）
 *費用は現地にて精算します。



例会出席状況

例会種類	ラン	チャリティ	一	二
月	11	11	11	
日	11	14	28	
阿部一雄				
荒川恭次				
井川幸吉				
池野輝昭				
馬場寅太郎				
小笠原真清				
加藤元紹				
亀谷龍生				
木野村映				
坂倉 洋				
坂口功祐				
佐藤壽晃				
里 昌信				
高田士嗣				
南里道子				
野口勝彦				
服部庄三				
早川政人				
坂野清治				
藤田留美				
松原 誠				
三井秀和				
吉田一誠			M	
吉田 正				

...出席

M...メークアップ

後記

先月号の苦い経験から今月号は画像容量をぐっと減らしました。スムーズに配信できたと思います。

20世紀もあとわずか。みなさんの世紀末はどんな年だったのでしょうか。2001年1月号では「私の21世紀」を特集したいと思います。忘年会で原稿を集めます（EメールOK）ので、よろしくお願ひします。今世紀最後の師走です。風邪など召さぬよう頑張ってください。また、原稿は常時募集していますので、どしどし投稿してください。